

ベア6,000円満額獲得、2019JR春闘を闘おう！

第29回定期地本委員会開催



JR東海労名古屋地本は、名古屋牧野コミュニティーセンターにおいて、第29回定期地本委員会を開催しました。

昨年大会以降取り組みの総括と、2019JR総連春闘を中心とした春の闘いについて議論し、闘いの方針を満場一致で確認しました。

委員会成功のため多くの組合員の参加に感謝

冒頭、山田副委員長から開会の挨拶で委員会がはじまり、議長には神領分会の松山さんを選出しました。

最初に、荻野地本委員長が、「委員会成功に向け多くの組合員の参加に感謝。春闘を牽引する大手自動車産業がそろってベア額を提示せず賃上げ要求をしている。連合が統一したベア要求を行わなければ春闘の終焉を迎える。しかし、大幅賃上げ獲得と労働条件向上のため統一闘争でなければならない。職場では、社員間の格差がますます広がっている。格差の原因である制度に反対してゆく。」と挨拶しました。

提案された「新しい人事・賃金制度等」の見直しについて説明

議事に移り、執行部から経過の報告、当面する活動方針、暫定予算が提起されました。質疑の前に、先月提案された「新しい人事、賃金制度」の見直しについて、御辺書記長が内容について説明し、「本部は定年の変更や新設される職務手当などについて会社に説明を求めています。今後本部の交渉に注目して行きます。」と、これまでの経過も含め提起しました。

委員から職場の問題や労働条件について発言される

質疑応答では、職場での諸問題、とりわけ高齢者の労働条件、出向先の労働条件についての問題、平和の問題等々多くの発言があり、執行部各部からの答弁で方針の内容がさらに深まりました。その後書記長の総括答弁がなされ、執行部提案の方針、暫定予算、が満場一致で採択されました。丹羽副委員長の閉会の挨拶の前に、2月で会社を勇退される今井執行委員に地本委員長から、ねぎらいの言葉と記念品がわたされました。

最後に、荻野地本委員長の団結ガンバローで委員会を終わりました。



今井さんお疲れさま

職場から統一要求・統一闘争で2019JR総連春闘を闘おう！